

富山市立寒江公民館

(平成21年1月31日現在)

◆ 事業の目的

今の子どもたちに不足しがちな、自然体験を少しでも多くしてもらい、あまり使うことがなくなった五感を使うこと、また、実際に自然の中で説明をして教えていただくことにより、自然の中でより良く生きる方法や、豊かな心を育むことができる機会なればとこの事業を実施した。

◆ 事業の流れ

| 実施日 | 活動名 | 場所 | 参加人数 |
|--------------|--------------|-----------|------|
| 11月9日 (日) | 縄文時代の土器をつくろう | 北代縄文館 | 34名 |
| 11月9日 (日) | 秋を見つけよう！ | 自然博物館ねいの里 | 34名 |

◆ 事業の様子

☆ 縄文時代の土器をつくろう

北代縄文館では、土に触れることのできる「土器作り」をしたり、竪穴住居の生活模型を見たり、火おこし体験などをおし大昔の人々の生活の大変さを知ることができました。



上手にできるかな！（土器づくり）

☆ 秋を見つけよう！

自然博物館ねいの里では、館内で学芸員さんから、実際に生きている小さい蛇に触らせてもらったり、香りの良い木の匂いを嗅いだりと五感を使うことを教えていただきました。また、山で熊に出会った時の身を守る方法も教えていただきました。

フィールドの散策では、ナチュラリストの方の説明を聞きながら、実際に木の実を食べてみたり、木の幹の太さを測ったりしました。

この事業をとおして、日ごろできない貴重な体験をすることができたと同時に、改めて今日の便利で快適な生活を送れることの大切さと感謝の気持ちをもつ良い機会となりました。



木の実を食べてみよう！（フィールド散策）

◆ 事業の成果と課題

この事業を実施したことで、子どもたちが、体験したことを家族の方に話し、家族と一緒に同じ話題をとおして、考えたり意見を聞いたりする家族ふれあいの機会ができた。

もっと、子どもたちが自然とふれあう機会が必要なのではと感じた。